



千年希望の丘だより

令和4年1月 第4号

千年先まで子どもたちの笑顔を守りたい

千年希望の丘
MILLENNIUM HOPE HILLS

千年希望の丘交流センター

TEL/FAX 0223-23-8577

<https://www.sennen-kibouno-oka.com>

千年希望の丘だより第4号では、新型コロナウイルス感染拡大により計画どおりのサポーター活動が難しい状況にありましたが、令和3年度後半に行われたサポーター活動や、開催されたイベント、トピックス等について紹介します。

(公財) 鎮守の森のプロジェクトによる「千年希望の丘植樹祭2021」の開催

10月2日、千年希望の丘藤曾根公園5号丘北側園路で(公財)鎮守の森プロジェクト主催の植樹祭が開催されました。今回は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、参加者を宮城県内在住の方に限定し80名のボランティアによりタブノキ、シラカシ、アカガシ、マサキ、アラカシ、シロダモ等、24種類1,500本の苗木が植樹されました。前日まで台風の影響を受けて荒天でしたが、当日は台風一過の強い日差しの下で植樹活動を行い併せて昨年植えた場所の育樹、補植作業も行いました。



開催の挨拶をする新川事務局長



赤ちゃんを背負いながらの育樹作業



熱心に植樹の説明を聞く参加者



園路法面で植樹を行う参加者

オシノタカオ前川復興プロジェクトの皆様による育樹活動

10月7日、職場(二の倉工業団地)に近い二野倉公園エリアの園路において、手作業と刈払機を使用して育樹活動を行いました。今回が2回目となるサポーター活動でしたが、メンバー11名が参加し、例年になく長く伸びた雑草を手際よく処理していただきました。



サポータープレートの前で記念写真

ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)の皆様による育樹活動

10月8日、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン東北エリア管理部の6名の方々が二野倉公園の園路の法面の育樹活動を行いました。9時から15時まで長時間にわたる作業に感謝いたします。



育樹活動を行う社員の皆さん

大成設備株式会社の皆様による育樹活動

10月16日、大成設備(株)仙台支店の15名の皆さんが相野釜公園で育樹活動を行いました。当日は冷たい雨の降る一日でしたが、熱心に育樹作業を行っていただきました。



背丈まで伸びたセイタカアワダチソウと格闘する参加者



作業後大型テント下で記念撮影

日本たばこ産業(株)の皆様による育樹活動

10月20日、東北支社の16名の皆さんが相野釜公園で今年2回目のサポーター活動を行いました。セイタカアワダチソウが繁茂しておりましたが、きれいに除草していただきました。



育樹活動を行う参加者



サポータープレートの前で集合写真

(公財) 鎮守の森のプロジェクトによる種子採取の活動

鎮守の森のプロジェクトでは、その土地にあった苗木を植えるために、植樹地の近くで自生している種子を採種し新しい植樹用苗木に育てる活動を行っています。今年度は10月30日に千年希望の丘1号丘の北側で行われ、宮城県内を中心に20名の参加があり、マサキ、シャリンバイ、トベラの実を集めました。



慰霊碑で黙祷



種子の採取

JP労組の5支部合同サポーター活動

11月6日、相野釜公園内において仙台東南支部、仙南支部、西尾張北部支部、富山チューリップ支部、富山西部支部合同チームの皆さん47名が一丸となって、今年最後の育樹活動を行いました。初めて参加される皆様も手際よくスムーズに活動を行っていただきました。



慰霊碑前で集合写真



除草をするメンバー

岩沼小学校の児童が、千年希望の丘相野釜公園で防災学習

岩沼小学校の4年生の児童が、10月18日・20日・21日の3日間、校外学習のため千年希望の丘相野釜公園を訪問しました。新型コロナウイルス感染防止対策のため、実施日を3日に分け、密にならないように配慮して実施されました。

交流センターでは、東日本大震災の大津波がもたらした甚大な被害の状況や、震災からの復興の様子、千年希望の丘と園路の津波に対する役割等を防災学習用の映像や、パネルを使った説明を聞いて学習しました。また、公園内の慰霊碑や2号丘を見学し、防災四阿の仕組みや、非常時には携帯電話の充電もできるソーラー照明、防災用品等収納された防災ベンチの説明を聞き避難丘としての防災機能を学びました。



防災学習用の映像による学習



慰霊碑前での説明

(一社) 千年希望の丘協会による花壇整備活動

11月20日、21日の2日間千年希望の丘協会の皆さんにより、千年希望の丘相野釜公園の花壇に約400本のパンジーの苗を植えていただきました。パンジーは、寒さに強く11月から4月頃まで開花します。花壇は千年希望の丘交流センターの南側にありますので、ぜひ皆さん見に来てください。



整備されたパンジーの花壇

仙台育英学園秀光中学校の生徒が、千年希望の丘相野釜公園を訪れ、震災について取材

河北新報社の東日本大震災からの復興を支援するための「今できることプロジェクト」の一環で、10月2日仙台育英学園秀光中学校の生徒10名が千年希望の丘相野釜公園を訪問しました。これは震災から10年以上が過ぎ記憶の風化が心配されるなか、若い世代に震災の記憶と教訓を伝承するために行われている取組です。中学生が宮城県内各地の被災地を訪問し、追悼施設や震災遺構を実際に見て確認し語り部からの説明を聞いて、震災当時の様子や復興の状況などを学習するものです。

この取材の後、学校でワークショップを行い中学生が伝えたい東日本大震災の記事を作成し河北新報の特集紙面として震災の記憶や教訓を情報発信します。また作成した特集紙面は宮城県内外の学校や震災伝承施設に配られる予定です。



交流センターで震災からの岩沼市の復興の歩みを映像で学習



語り部の話を熱心にメモを取る生徒



慰霊碑前での説明



2号丘の避難丘としての防災機能の説明を聞きました。

交流センターからのお知らせ

入館に際しては、感染再拡大防止のため引き続きマスクの着用、手指の消毒、入館者カードへの記入をお願いいたします。また3密回避のため館内の座席の間隔を開けて設置する等の感染防止策は継続しますので皆様のご理解とご協力をお願いいたします。